

おいしいヘルシービーフをどうぞ!!

白石牧場まつり

4月20日、宮城県農業公社が主催する「白石牧場まつり」が同牧場で開催されました。同公社では、繁殖牛としての役目を終えた雌牛に、国産の飼料用米などを与えて肉質を改善し、脂肪分は少なめですが、人の脂肪を燃焼させる働きがあるアミノ酸の一種、カルニチンを多く含む「ヘルシービーフ」の普及に努めています。

この日は、約240kgの黒毛和種の牛肉が用意され格安で販売されたほか、地元農家の皆さんの新鮮で安全な農作物なども同時に販売され、多くの市民が開始前から会場に詰め掛けていました。



▲ヘルシービーフを買い求める人たちがいっぱい

元気に100歳を迎えました
管野きつさんに祝詞と松竹梅敬老祝金を贈呈

▲全員できつさんのご長寿を祝福!

4月21日に満100歳の誕生日を迎えた管野きつさん(字幸)のもとを風間市長が尋ね、祝詞と松竹梅敬老祝金を贈り、ご長寿を祝福しました。

きつさんは市内小下倉地区のご出身。三男一女、計4人のお子さまに恵まれ、お孫さんが9人、ひ孫さんは10人いらっしゃるということです。野球や相撲のテレビ観戦が好きで、特にジャイアンツの大ファンというきつさん。食べ物に好き嫌いはなく、特にかんきつ類などの果物やカニが大好きとのこと。この日は親族が集まり、全員できつさんの100歳をお祝いしました。

美しく咲いたパンの花、そして屋敷に響く美しい音色
第6回パンフラワー作品展

▲「赤い靴」や「菜の花」などの名曲を次々と披露

4月18日から20日まで、^{すまる}壽丸屋敷で6回目となるパンフラワー作品展が開催されました。パンフラワーは、パン粘土を材料にして作る花のことで、手軽に楽しめる造形アートとして人気があります。今回の展示会には、市内で教室を主宰する^{やまとのりこ}山本紀子さんと、その門下生などの作品約80点が展示され、たくさんの人が屋敷を訪れました。また、4月20日には、山本さんの夫で俳優の山本昌平さんによるハーモニカのミニコンサートが行われ、パンの花が咲きそろう屋敷内に、どこか懐かしい、透き通った音色が響き渡っていました。

プール清掃が今から楽しみです!
深谷小学校の児童がプールにEM菌を投入

環境に優しく、水質浄化や生ごみの肥料化にも役立つとされる有用微生物群、EM菌。市内の小学校で、子どもたちにEM菌の発酵方法などを指導してきた市地域婦人団体連絡協議会(佐藤常世会長)では、4月30日に深谷小学校でプールへのEM菌発酵液投入を行いました。発酵液の投入には、同小学校の児童40人が参加。用意された300リットルの発酵液を次々と投入していきました。6月上旬のプール開きまでに清掃を行う予定とのこと、子どもたちは大変だったプール清掃がどれほど楽になるのだろうか、興味深げな表情を浮かべていました。



▲EM菌の発酵液をプールに投入する児童たち

ヨーロッパはすてきな国ばかり! 特にイギリスは!

EUが東中学校にやってきた

5月9日のEU(欧州連合)創設記念日の事業として、5月8日・9日の両日、EUに加盟する27カ国の在日大使館などの大使や外交官70名が、全国105校の中学校や高等学校などを訪問し、EUや出身国についての知識を深めてもらおうと講演会を開催しました。

これに選ばれたのが東中学校。5月8日、英国大使館広報部長のサイモン・ウッドさんが全校生徒384人の前でEUの役割や英国の国情などについて話し、質問コーナーでは、EUの国旗のデザインや英国と日本の学校生活の違いなど、われ先にと手を挙げ質問していました。



▲かつて熊本県でALTの経験を持つウッドさん

天然温泉の力で健康維持
薬師の湯ひまわりセンターの入館者が10万人を突破

▲我妻さん(写真右)と佐藤理事長

5月12日、薬師の湯ひまわりセンターの入館者が10万人を突破し、記念セレモニーが行われました。10万人目の入館者となったのは、新館町在住の^{あがつま}我妻みつ子さん。我妻さんは、生きがいサービスなどで月3回は薬師の湯を利用しているとのこと、「温泉の力と参加者同士の交流で、心と体がとても癒やされました」と話していました。昨年4月25日のオープンから、1年ほどでの快挙達成。薬師の湯の佐藤孝一理事長は、「思ったより早く10万人を突破できて、とてもうれしく思います。今後もぜひご利用ください」と話していました。

赤ちゃんとのふれあいを深めよう

「ブックスタート事業」絵本贈呈式



▲たくさん絵本を読んでもらってね!

赤ちゃんとその保護者の方に絵本(ブック)を贈り、その読み聞かせを通して、親子間のふれあいを深めてもらいたい。市社会福祉協議会では市と連携し、この「ブックスタート」の推進を図る取り組みを始めました。

4月25日に健康センターで行われた絵本の贈呈式には、昨年10月に誕生した赤ちゃんとその保護者30組が参加。互理昭太郎会長と風間市長から、親子に絵本が手渡されました。今後、6カ月育児相談などの会場で、保護者の方に5冊の中から好きな本を1冊選んでもらうことになっています。

県南地域の中学生がお互いの技量を競い合いました
第8回中学生サッカー交流大会

4月26日・27日・29日の3日間にわたり、白石川サッカー公園で第8回中学生サッカー交流大会が開催され、県南から参加した12校が、優勝を目指して熱い戦いを繰り広げました。この大会は、交流を通して各校のレベルアップを図ろうと、白石サッカー協会が主催したものです。予選ブロックの1位チームのみが、最終日の決勝トーナメントに進めるという厳しい戦い。残念ながら本市のチームはすべて予選で敗退してしまいましたが、6月中旬の中体連サッカー大会に向けて、関係者は着実に各校の実力が伸びてきていることを実感していました。



▲勝利を信じて、必死にボールを追いかける選手たち